

旭労災病院ニュース

病院情報誌 第150号 平成30年6月1日発行

発行所：旭労災病院

〒488-8585

尾張国守平字北61番地

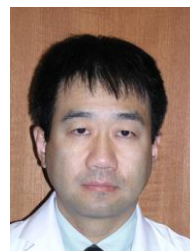
TEL 0561-54-3131

FAX 0561-52-2426

<http://www.asahih.johas.go.jp/>

手術の危険性の情報提供と安全対策

外科主任部長 高野 学



手術は医療行為の中で最も侵襲度が高く、一般的な安全対策を行うことによりしばしば矛盾を生じます。癌の治療においてリスクを冒さなければ病巣を完全に切除することができない場合があります。その状況を強い意志で乗り越えてきた先達のおかげで現在の治療法がありますが、時に安全を犠牲にしていたと推測されます。

既にご存知のように2011年に日本外科学会を基盤とし外科系諸学会の協力のもと一般社団法人National Clinical Database（以下NCD）が設立されました。全国の手術をデータベース化し、分析することで医療水準の評価を行い、医療の質の向上につなげることを目的としています。胃切除術・胃全摘出術・結腸右半切除術・直腸低位前方切除術・肝切除術・膵頭十二指腸切除術・急性汎発性腹膜炎手術の全国平均の結果を確認できます。手術関連死亡・平均在院日数・手術関連感染症の発生率・縫合不全を含む術後合併症の発生率が公表されています。これによると比較的安全な手術と考えられる胃切除術、大腸癌手術の手術関連死亡率でさえ1~2%という結果でした。とはいえ手術前の患者さんにそのまま“手術をすると100人に1-2名は手術後に退院できなくなりますよ”と言うことは躊躇します。

以前から手術症例数の多いハイボリュームセンターと、それ以外の施設で高難易度手術を受けた際の合併症や予後について検討されてきました。特に膵癌においては、観察研究のメタアナリシスの結果から全死亡率の低下、在院死亡率の低下、手術関連合併症の低下、術後在院期間の短縮を認めたため、手術数の多い施設で行うことを推奨しています。（膵癌診療ガイドライン）

術後合併症の発生は残念ながら外科手術では避けて通れない問題です。特に直腸癌において手術後縫合不全率は高く、全国平均で約8%と報告されています。（大腸肛門誌 65:355-362, 2012）現在当院では術後合併症が発生した際は縫合不全であったとしても術後合併症であるとしてやむを得ないとするのではなくインシデントレポートを作成し、予期される入院期間を患者さん及びご家族に文書で説明し、入院の見通しについて説明しています。

以上脈絡のない文章となりましたが、手術リスクの情報提供と安全対策の現状について概略しました。安全対策を講じていても同じ安全対策を繰り返すと“慣れ”が生じます。労働者健康安全機構では安全情報を発信することで、他施設での医療上の事故等の情報を共有しています。他施設の情報をすることで自施設で同様な事故を起こさないように努めています。

RRS (迅速対応システム)について

私たちの気づきが患者を救う

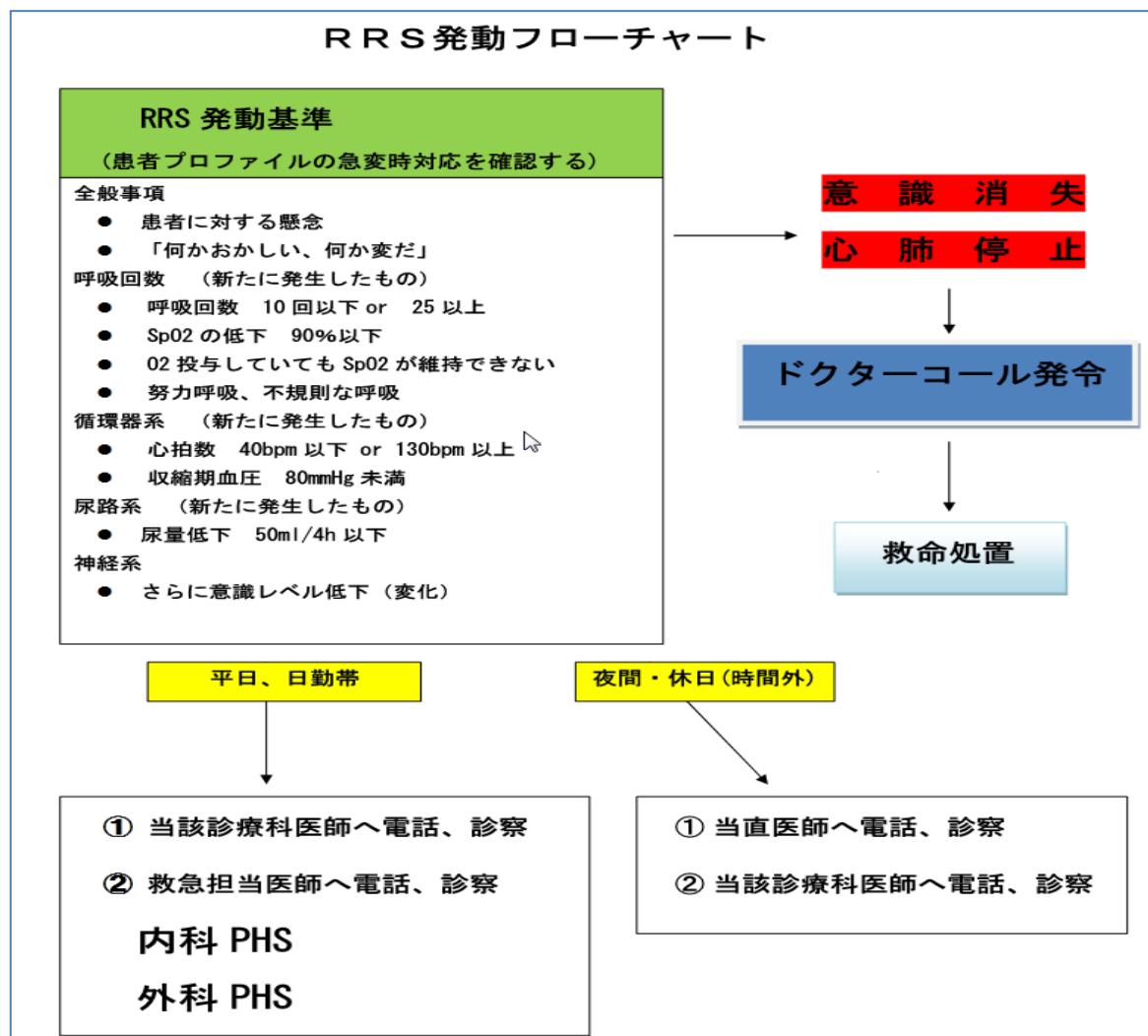
医療安全管理者 村上 桂子

院内急変の発生を未然に防ぐための院内システムとして RRS (迅速対応システム) があります。RRS とは Rapid response system の略で、患者に対する有害事象を軽減することを目的とし、迅速な対応を要するバイタルサインの重大な増悪を含む急激な病態変化を覚知して対応するために策定された介入手段で、旭労災病院では昨年度から RRS に取り組み始めました。多くの急変には「前兆」があり、その前兆に早期に気づき介入することで患者の急変死亡事例を防ぐものです。



目的：入院患者に対し臨床症状増悪の兆候と症状の早期認知をして迅速な評価と介入を行い、診療科を超えて対応する。

対象者：BSC (Best Supportive Care 緩和ケアで RRS 対応しない) が決定している患者以外の入院患者



【RRS 発動基準】

- ・容態の変化を早期に認知して、該当診療科医師、救急担当医師に連絡する。
- ・「呼ぶ必要はなかった」事例よりも「もっと速く呼ぶべきなのに呼ぶのがおくれた」事例が問題なので、RRS は「カラ出動」をよしとすることを重視する。
- ・起動基準を1つでも満たす場合とする。
- ・発動後、原則発生した部署の看護師も RRS の一員として対応する。

旭労災病院 RRS のマニュアルには、発動に関して救命を優先して発動したことにより何らの批判を受けないこととする。どのような場合にも発動した人は免責される。と明記してあります。これにより、「何かおかしい、いつもと違う」と感じた職員はこんなことで医師にコールしても良いかなと悩まずに、RRS を発動することができます。RRS が開始となり半年ほど経ちますが、実際にモニター上の ST 変化に気づき、RRS が発動され、医師の診療科を超えた連携のもと緊急心臓カテーテル検査を行った患者もいました。また、リハビリ中に頻脈に気づき RRS が発動された事例もあります。とは言ってもまだまだ開始したばかり、RRS 事例の検討をどのように行うのかなど問題点も残っています。しかし、「私たちの気づきが入院患者の命を救う。」急変の「前兆」を覚知し、早期の介入ができれば良いと思っています。「旭労災病院にこそ RRS が必要」とこのシステムが導入に至るまで、医師にご尽力いただいたことは言うまでもありません。



診療科着任の挨拶



外科副部長
いだ ひでおみ
井田 英臣

本年4月より外科に着任いたしました井田英臣と申します。
平成19年に旭川医科大学を卒業し、安城更生病院で初期・後期研修を修了し、春日井市民病院に勤務した後、名古屋大学大学院腫瘍外科（食道・胃）を経て、この度、旭労災病院に勤務させて頂くことになりました。微力ではございますが、当地域医療の一助になればと思っております。何卒宜しく願い致します。



消化器科医師
かとう しゅんすけ
加藤 駿介

平素より大変お世話になっております。
本年4月より消化器科に赴任しました加藤駿介と申します。平成26年に愛知医科大学を卒業後、同大学病院での初期研修2年間と消化器内科医研修2年間を経て、この度当病院で勤務させていただく事になりました。

新しい環境で慣れない点多々ありますが、これまでの経験を生かし当地域の医療に貢献できるよう尽力させていただきたいと思っております。何かとご迷惑をおかけすることもあるかと思っておりますが、ご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。



腎臓内科医師
しばた ひろこ
柴田 裕子

初めまして。本年4月より腎臓内科に着任いたしました柴田裕子と申します。
平成26年に名古屋市立大学を卒業し、東部医療センター、名古屋市立大学病院で初期研修を修了した後、同大学病院で腎臓内科医として、2年勤務してまいりました。

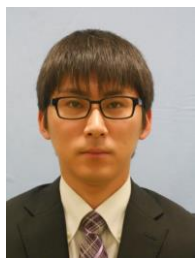
まだまだ未熟者で、不慣れなことも多くご迷惑をお掛けするかと思っておりますが、少しでも早く当地域の医療に貢献できる様、精進していきたいと考えております。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。



呼吸器科医師
きたむら ゆき
北村 有希

本年4月より呼吸器科に着任いたしました北村有希と申します。
平成27年に鹿児島大学を卒業し、鹿児島今村総合病院で2年間の初期研修のうち、名古屋市立大学病院呼吸器内科で1年間後期研修を行い、この度旭労災病院に勤務させていただくこととなりました。

医師としてまだ未熟で不慣れな点多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思っておりますが、少しでも貢献できるよう精進して参りますので、ご指導ご鞭撻の程お願いいたします。



専攻医 (前期)
ささき やまなり
佐々木 康成

初めまして。このたび半年間という短い期間ではありますが、旭労災病院にて内科専攻医として研修させて頂く事となりました佐々木康成と申します。平成 28 年に名古屋市立大学を卒業し、豊川市民病院で 2 年間の初期研修を修了しました。半年後には再び豊川市民病院に戻る予定となっておりますが、この病院は私にとって幼少期に何度か通院した馴染みある病院です。自分が治療して頂いた病院で、今度は自分が治療する立場として勤務させて頂ける事を大変嬉しく思います。まだまだ未熟でありますゆえ皆様にご迷惑をおかけする事も多々あるかと存じますが、多くのことを学ばせて頂きたいと思っております。何卒よろしくお願い致します。



専攻医 (通年)
しらが かずひで
白神 一秀

平素より大変お世話になっております。
本年 4 月より内科の医師となりました、白神一秀と申します。
平成 28 年に名古屋市立大学を卒業し、豊川市民病院で 1 年間、名古屋市立大学病院で 1 年間の研修をして参りました。この度はご縁がありまして、旭労災病院の後期研修医として経験を積ませて頂くこととなりました。

未熟者ではございますが、精一杯頑張らせていただきますので、御指導御鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



研修医 1 年目
やまだ こうたろう
山田 耕太郎

平素よりお世話になっております。本年四月より旭労災病院初期研修医となりました山田耕太郎と申します。平成 30 年に岐阜大学を卒業しました。

卒業したばかりの未熟者で皆様に多々ご迷惑をおかけすることもあります。当地域の医療に少しでも早く役に立てるよう全力を尽くしたいと思っておりますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



研修医 1 年目
やまむら すずな
山村 鈴奈

初めまして。この度 4 月より旭労災病院初期研修医としてお世話になっております山村鈴奈です。

平成 30 年に久留米大学を卒業いたしました。

少しでも早く貢献できるよう一生懸命頑張りますので、皆様にはご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、ご指導のほど宜しくお願い致します。

